

# 南部の要衝・八重瀬町の発展を 更に前へ!! 前へ!!



## 記者のメモ



### MICE計画 前へ前へ

○…県議会一般質問で、地元の与那原町と西原町にまたがるマリンタウン地区の大型MICE計画を取り上げた徳田将仁県議（自民・無所属、島尻・南城市区）。大幅な進捗遅れや入札不調などの現状を厳しく追及し、同じ与那原町出身の照屋義実副知事から「計画通り進めることに変わりはない。不動の決意と受け止めていただきたい」との答弁を引き出した。「地域振興のため、とにかく前に進めたい。県も覚悟を持ってお願いします」と、地元の代表として言葉に熱がこもった。

### 東にはないか

○…県議会総務企画委員会で交通政策をたじた徳田将仁県議（沖縄自民・無所属の会）。離島住民の交通コスト負担軽減事業について「島によっては交通費が高いところもある。もう少し補助をするべきだ」と離島住民をおもんばかった。一方、本島への鉄軌道導入計画で、県が説明した那覇一名護間を結ぶ案に「東側は（通って）ないってことですか」とぼつり。離島振興に目を向ける傍ら、東海岸の経済発展を訴える身として、聞き捨てならなかった様子。

令和6年第3回沖縄県議会(定例会)

## 予算はどこへ？ 動き出すまでゆずらない。

問 国道507号整備の、現在までの進捗状況はどうなっているのか。また、工事が進まない箇所に東風平中学校前交差点付近がある。朝夕の交通渋滞と学校に通学する児童生徒の安全性の確保に問題があり、早めに工事をすべき箇所だと思いませんか。また、旧道及び老朽化した歩道橋も早急に撤去して頂きたい。東風平中学校前周辺の整備工事の状況を伺いたい。

答 土木建築部長

国道507号八重瀬道路の令和5年度末の進捗率は、事業費ベースで約53%であり、今年度は東風平中学校前の歩道橋撤去、令和7年度から東風平交差点部分の整備完了に向け取り組むこととしている。

問 過去の沖縄県議会の議事録の中で、平成28年の県の答弁で、当時の土木建築部長から、本事業は「平成20年度から事業着手しており、平成27年度末の進捗率は約50%となっております。今後とも地元の協力を得ながら平成33年度の完成共用に向け取り組んでまいります。」と答弁されています。今僕が言ったのは、平成27年度で50%、今さっき部長がおっしゃったのは53%。なぜ9年でたった3%しか事業が進んでいないのか、その理由を説明して頂きたい。

答 土木建築部長

事業延長が4.2キロメートルと距離が長く、用地取得に時間を要しているというところが主な理由でございます。議員御指摘のとおり事業が遅れている状況でございます。その遅れている状況、それから今後の整備計画等につきまして、地元八重瀬町等と協議をしてみたいというふうに考えております。

### 提言

事業開始最初の7年は50%、一気にいったんですよ。八重瀬町も期待しました。その後からのこの9年、たった3%しか進んでいない。それで、なぜなのか地元にも説明もない。ただ延長、延長。今後の計画も見えない。まず誠意ある説明が地元になされてないんですよ。一体、いつまで完了時期を延ばしていくのか。本間に、具体的に次年度はどこをやりますよとか、そういった丁寧な説明を地元八重瀬町

等と早急に協議をして頂きたい。

令和6年第2回沖縄県議会(定例会)

## 氾濫は一瞬、被害は一生。

問 饒波川下流側の豊見城市においては2級河川に指定されているが、上流側の八重瀬町側は普通河川となっている。上流側の八重瀬町側を2級河川に格上げをして整備できないか。また、饒波川の上流は、八重瀬町を經由して南風原町、そして南城市までの流域であって、流域の都市化の進展により八重瀬町内において浸水・氾濫を繰り返している状況にあります。特に国道507号に架かる友寄橋付近においては、冠水のたびに道路が寸断されて、通勤・通学等で道路を利用する県民に多大な被害を及ぼしている状況であることとを県は把握しているのか。

答 土木建築部長

県としては、当該区間が土地改良事業で整備した区間となっていることから、浸水被害の状況、河道管理の状況、2級河川として事業化の可能性等を検討し、八重瀬町と調整していきたいと考えております。友寄橋付近でございますが、通学路が冠水等により通行ができない状況があるというふうなことは、地元の八重瀬町等から聞いているところでございます。

問 饒波川だけじゃなくて、長堂川も、そして報得川もありますから、そういう河川をやはりしっかりと現場に行き見て、どんな状況なのか部長も関係する各課もしっかり見ていただきたい。その周りの道路を寸断するだけでは無く、農家さんの畑まで全部浸水して、今まで何か月もかけて育ててきた農作物も全て駄目になってしま

う。今回の大雨でビニールハウスの1メートルぐらいの高さまで水が入ってくる場所もありました。近くには保育園もあります。人命が失われた場所もある。沖縄県の自主財源をつけてでも早急に対応していただくの意気込みで解決して頂きたい。



**次の世代に、学びのチャンス。**

**問** 向陽高校に向陽中学校を開設するには、開邦中学校や球陽中学校の動向を見て判断すると県教育委員会は言っていたと思うが、現在の状況、向陽中学校の開設の可能性についてお聞きしたい。

**答** 教育長  
現在、県内においては併設型中高一貫教育校が4校あり、特色あるカリキュラムの編成や異年齢集団の交流など、中高接続のメリットを生かした教育活動を推進している。今後の中高一貫教育の拡大については、県全体や地域の状況等を踏まえ、既設校の学級増や新たな学科の設置など、様々な可能性を検討して行きたい。

**問** 桜中学校の生徒の多くは国頭教育事務所管轄の小学校から、そして緑が丘中学校と球陽中学校の生徒の多くは中頭教育事務所管轄の小学校から、そして開邦中学校の生徒の多くは那覇教育事務所管轄の小学校から入学している。県立向陽中学校においても、島尻教育事務所管轄の南風原町や八重瀬町など島尻地区の児童生徒数は増加傾向にあり、南城市や豊見城市、糸満市、与那原町を含めた向陽高校、向陽中学校へのニーズはかなりの数と推察されていますが、県教育委員会ではどのように考えているのか。

**答** 教育長  
本県の中高一貫教育校は、沖縄を牽引する人材の育成、難関大学等への進学を目的として併設型中高一貫教育を設置することで進めてまいりました。進学重視型の中高一貫教育においては、難関大学等への進学を目的としておりますので、この相応の志願倍率が必要であるというふうにご覧いただいている。それを踏まえたニーズを見通していく。その辺の視点も重要であるというふうにご覧いただいているところであり、ちなみに、開邦中、球陽中においては、現在2クラスとなった段階において、それでもおおよそ4倍から6倍の倍率というふうになっているところであり、やはりこの目的を踏まえて、成果等だけではなくこれまでの考え方を踏まえ、既設の今ある学校の学級増、新たなそういった学科改編等、この辺も含めてやはり研究する必要があるというふうにご覧いただいているところ。

**問** 今、この既存の場所の検証をしていくという話があったんですけど、だから先ほどから僕が言いたいの、北部に1校あるでしょう。中部に2校あるでしょう。那覇・浦添に1校に今なっていないかと言っているんです。南部に1校も無い。だから南部に1校併設してほしいという考えなんですよ。島尻地区の児童生徒数も増加している。ニーズもある。この向陽高校に対しての検証委員会というものは、つくったことはあるんですか。それとも今後つくるとか、そういった前向きな答弁がほしいんですよ。

**答** 教育長  
議員ご指摘のとおり、これまで様々な質問、ご要望等を頂いてきた。基本的に教育委員会の中では、しっかりとその辺については関係者で情報を共有し検討しているところであり、今後、やはりこの中高一貫校を沖繩県が進めていくこの目的も踏まえて本間にニーズがあるのかどうか、先日も島尻教育委員会のほうに担当者が足を運んでおりますので、しっかりとまずは向陽高校、当該の市町村教育委員会としっかりと連携を図ってみたいというふうにご覧いただいております。

すよ。島尻地区の児童生徒数も増加している。ニーズもある。この向陽高校に対しての検証委員会というものは、つくったことはあるんですか。それとも今後つくるとか、そういった前向きな答弁がほしいんですよ。



**令和6年第4回沖繩県議会(定例会)**

**渋滞緩和!!出来る所から着実に!!**

**問** 国道507号(八重瀬道路)については、未整備である主要な交差点(座喜味交差点、富盛交差点)において、右折帯がなく、朝夕の渋滞が発生している状況であります。場所によっては右折するのにも3回も信号を待つことから、運転者による無理な右折の危険性や渋滞を解消するためにも、主要な交差点において整備を急いでいただきたいが見解を伺いたい。

**答** 土木建築部長  
こちらの渋滞箇所につきましては、暫定的な対策も含め取得済みの用地を活用して、令和7年度から北向け車線の右折帯の設置を検討する予定としております。

ております。まずはどの様な形で右折帯設置をするのか、道路交通法に基づく公安委員会との協議も含め進めながら、右折帯の設置に向けて取り組んでいきたいと考えております。また、富盛交差点や具志頭交差点につきましても、引き続き八重瀬町と意見交換を行いながら、暫定的な対策も含め対応を検討していきたいと考えているところでございます。

**提言**  
課題解決してほしい主要な交差点を、今回三つ挙げました。(座喜味、富盛、具志頭)その中で特に暫定的にでも、課題解決できそうな交差点は、座喜味交差点だとして答弁頂きました。ぜひとも暫定的にでも、すぐにでも解決できそうな座喜味の渋滞、目の前の課題を解決していただきたい。

**薬剤師不足は、医療の危機!**

**問** 沖繩の薬剤師数は全国最下位で、今後さらに悪化が予測される。県外進学者は多いが、県内の薬剤師不足は解消されていない。国立大学の定員増には課題があるが、特例措置も可能。県と知事の本気が鍵となるが、どう考えているか。

**答** 保健医療介護部長  
沖繩県では、薬剤師不足の解消に向けて短期・長期の両面から対策を進めている。長期的には、県内に薬学部を設置し、安定的な薬剤師の確保を目指しているが、設置大学は未確定の状況。一方、短期的な対策として、県出身の薬学部生を対象に、年間36万円の奨学金を支給し、一定期間の県内勤務を条件とする「薬剤師確保モデル事業」を実施。現場の薬剤師不足を補いつつ、将来的な人材確保に向けた取り組みを進めている。

**答** 知事  
県は検討連絡会において、県内への薬剤師不足に関する課題ですとか、あるいは県内国公立大学への薬学部の設置の場合の国による支援、あるいはどのような財政支援ができるかということも総合的にやはり検討を進めている。議員ご意見のように、やっぱり県内で薬剤師を育成して、その人材をしっかりと確保するという将来構想も含めた協議の在り方について、さらに部局等を中心に検討を進めていきたいと思っております。

**県道82号線八重瀬町字宜次の地すべり対策事業いつまでか?**

**問** 当該事業箇所は、南部徳洲会病院前から糸満市側に向けて約330メートル付近に位置しています。現在、地滑りに関する安全対策として両側の歩道約350メートルも通行止めとなっております。地域住民の買物や災害時の通行等に支障があります。また、当該道路は沖繩県緊急輸送道路ネットワーク計画において、第二次緊急輸送道路として指定されていると思います。災害時における重要な道路でもあるんですけど、その点はどうか考えているのか。早期の完了に向けて取り組んでいただきたい。事業期間、今後の計画等を伺いたい。

**答** 土木建築部長  
八重瀬町宜次における那覇糸満線は、道路のり面に変状が生じていることから応急対策を行っておりますが、部分的な崩壊が懸念されることから、安全確保のために両側の歩道を通行止めにしております。抜本的な対策については、現在設計を行っているところであり、令和7年度から対策工事の予定しております。議員御指摘の通り、県の緊急輸送道路に位置づけられております。対策工事の早期完了に向けて取り組んでまいりたいと考えております。引き続き、道路のり面の早期対策に努めてまいります。



一般質問動画は  
コチラ!!

check